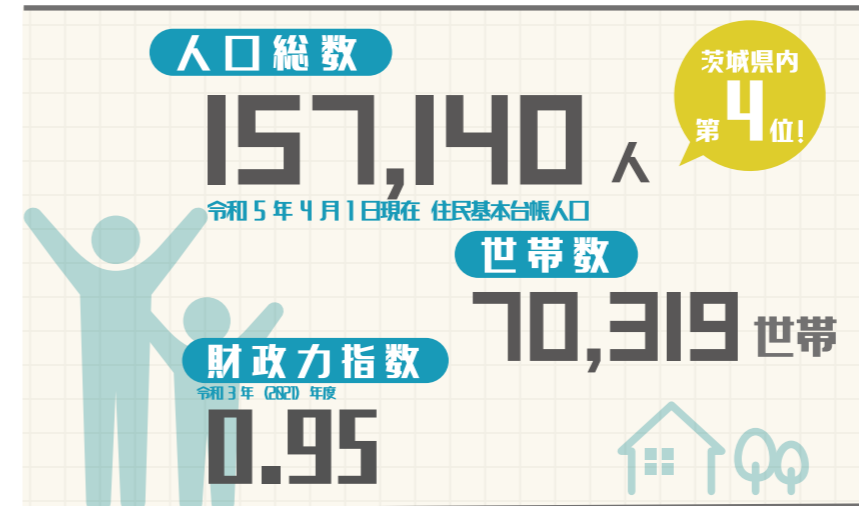
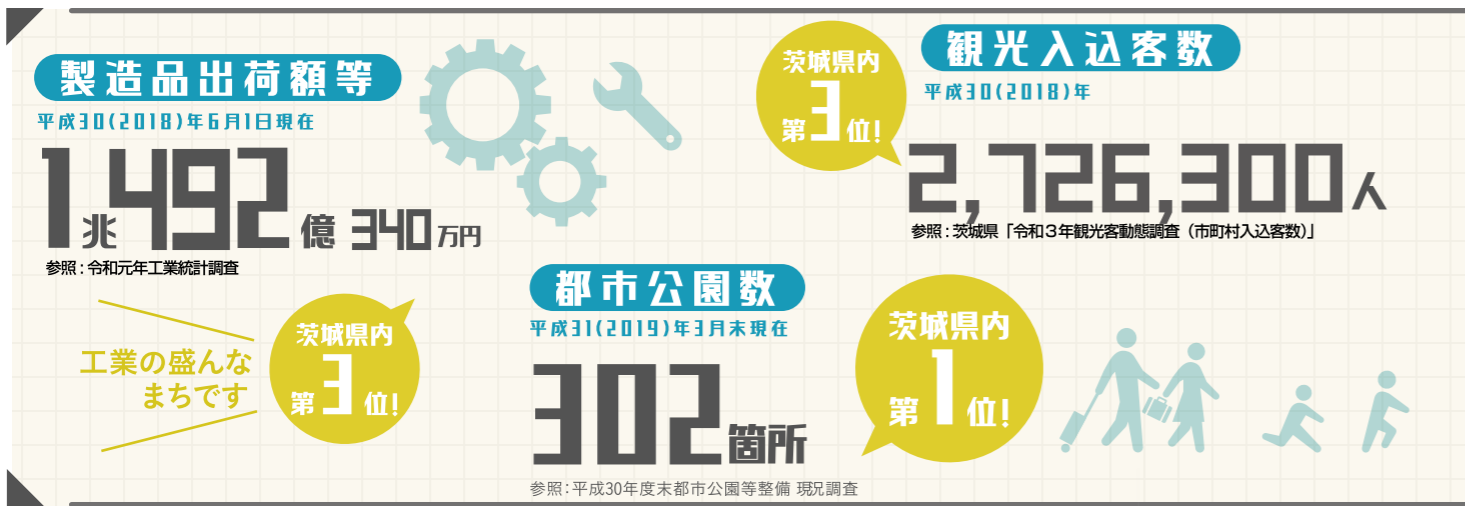




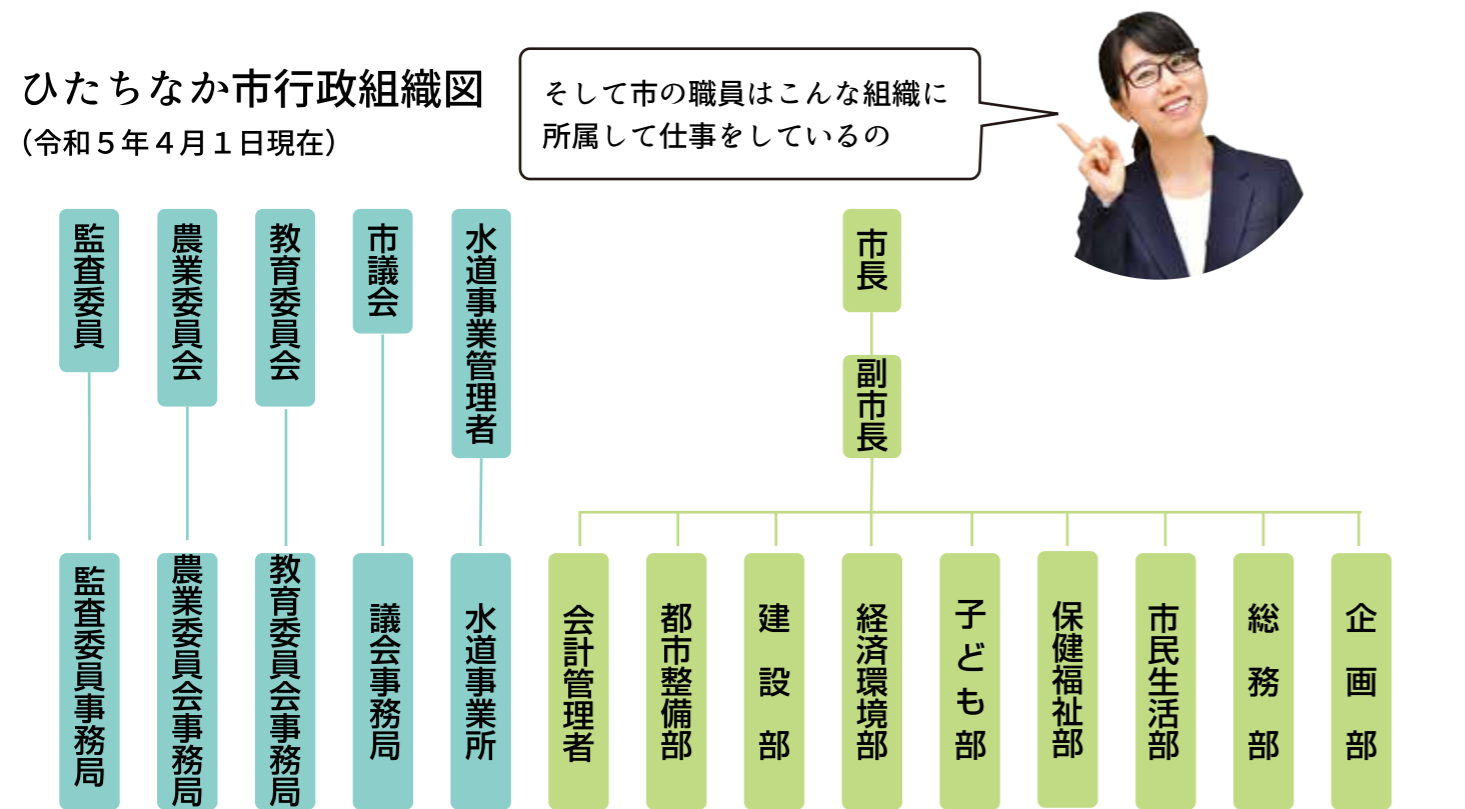
市役所の仕事、

教えます





— Take a Look! —
Data of
ひたちなか



市民の安心安全な暮らしを守るまちづくり

地域経済の活性化とにぎわいのあるまちづくり

ひたちなか市では、こんなまちづくりをしているのよ

生涯を通じていきいきと暮らせるまちづくり

快適で機能的な住みよいまちづくり

子育て世代に選ばれるまちづくり

市民とともに知恵と力を合わせたまちづくり



企画部

所属課と主な業務

市長公室

秘書課

市長、副市長の秘書業務、表彰等

広報広聴課

市報の発行、意見の受付、市民相談等

企画調整課

総合計画、マーケティング、公共交通、企業立地等

情報政策課

DX 推進等

市民が主役の広報紙 市報ひたちなか



ひたちなか市の広報紙は、令和4年全国広報コンクールの組み写真部門で日本一にも輝くなど、ここ数年評価が高まっています。これからも市民が主役。想いの詰まった広報紙を届けていきます。



▲多様な立場の人の声を聞く、グループインタビュー



▲子育て世代や観光など、ターゲットを明確にした調査の結果を、まちづくりに結びつけます。

まちの 声



船越知弘さん

初めて田園を走る湊線を撮影したときの感動は今でも覚えています。同時におらが湊鉄道応援団に加わり、10年以上湊線を撮り続けてきました。市民と市で支えてきた湊線はまちのシンボルです。これからも写真の力で湊線のファンを増やしていきたいです。身近なまちの良さを発信し合えるまちになると良いですね。

美しい湊線の風景は、おらが湊鉄道応援団フェイスブックで更新しています。

企画部

まちのニーズを調査し、 まちづくりを一緒に進める



企画調整課 齊藤正史 (平成15年入所)

「住み続けたい、住んでみたい、応援したい」まちに

ひたちなか市を多角的に調査・分析し、魅力あるまちづくりに結び付けるマーケティング推進事業を担当しています。

あたりまえですが、人がいるから「まち」があります。まちづくりで大切なことは、多くの人が、まちに誇りや関心を持ち、関わってくれることだと思います。

さらに「選ばれるまち」としていくため、今のひたちなか市をしつかりと見つめ直し、潜在的なニーズやまちの強みを活かしたまちづくりを進めていきたいです。

総合計画は まちづくりの羅針盤

多くの人がかわり、時間を費やすまちづくりには、進むべき共通の道しるべが必要です。そのため、マーケティングで集めたデータ分析を活かし、長期的なまちづくりのビジョンを示す「ひたちなか市総合計画」を策定しています。計画策定の始まりは、「声を聞く」ことから。日々の市役所の

業務の中で聞こえてくる市民の声はもちろん、市民へのアンケート調査、さらに生の声を聞くための高校生や新成人、市外転出者などへのグループインタビューを行うこともあります。まちへの想いを聞く中で、改めて気づかされることも多いですね。

やりがい、人との関わり

今まで、さまざまな分野の方と仕事をして、そのたびに刺激を受けてきました。医療や介護職のプロの方たちには、高齢になっても、住み慣れた地域で最後まで安心して暮らせるまちづくりに向けた熱意に。また、ひたちなか海浜鉄道(湊線)出向時は、湊線を支え続ける「おらが湊鉄道応援団」の休日関係なく活動する姿に感銘を受けました。

そうしたさまざまな分野の市民の方と関わりながら、多くの方の想いをのせて「まちの未来」を描いていく仕事は、市役所ならではのやりがいのある仕事です。

総務部

所属課と主な業務

総務課

議会の招集、選挙、選挙、例規、情報公開、文書管理等

人事課

職員の給与、社会保険、任免、研修、組織、行財政改革等

財政課

市の予算、決算説明資料の調製、財政運営、財政状況の公表等

資産経営課

公共施設マネジメント、本庁舎、市有車両の管理、普通財産の統括管理、施設営繕等

契約検査課

入札・契約等

那珂湊支所

支所の窓口受付、各種証明の交付等

税務事務所

市民税課

市民税、軽自動車税、たばこ税、入湯税に関すること

資産税課

固定資産税、都市計画税、特別土地保有税に関すること

収税課

市税、国民健康保険税の収納に関すること



まちの 声



藤田康広さん

仕事としてファシリティ・マネジメントを扱う中で、いくつかの自治体で公共施設の老朽化問題にも関わってきました。ひたちなか市でも本腰を入れて取り組み始めたことを嬉しく思います。

今後公共施設マネジメントを進めていく上では住民との合意形成が欠かせません。簡単には解決できる問題ではありませんが、市役所まかせてなく住民も一体となって考えて行く必要があると思います。

次の世代に 負担を残さないために



資産経営課

久米瑞樹（平成 26 年入所）

風通しのよい組織で、市の将来にかかわる仕事を

私は現在、公共施設マネジメントを担当しています。今から50年以上前の高度経済成長期には、爆発的な人口増加とともに数多くの公共施設が集中的に整備されました。人口減少社会を迎える中で、そうした公共施設が一斉に更新時期を迎え、多額の更新費用をどのように賄うかが全国的な課題となっています。この公共施設更新問題に対応し、次の世代に多大な財政負担を押し付けないための取組みとして公共施設マネジメントを推進しています。

そして実は、ひたちなか市の公共施設マネジメントは、私自身の発案がベースとなっています。前所属の人事課行政改革推進室で公共施設マネジメントの必要性や今後の方針を取りまとめ、新たな政策として提案したところ、推進組織である資産経営課が設置され、自ら担当職員を務めることになりました。意欲を持ち、データを積み重ねて提案すれば、若手職員の声にも耳を傾けてくれる風通しのよい組織であると感じています。

やりがいは、生まれ育ったまちに貢献できること

市職員ならではのやりがいは、生まれ育ったまちの課題解決に貢献できるという点です。また、次々と生まれる新たな課題と向き合い、様々な人とかかわることで自分自身が成長できる職業だと感じています。特に、現在担当している公共施設マネジメントは、比較的历史が浅い上に、自治体ごとに取り組内容が異なる政策分野であることから、自治体間でのノウハウの共有が盛んであり、様々な自治体の職員と交流する中で新たな知見を得る機会が多く、時には勇気づけられながら充実した日々を過ごしています。

このまちの誰かの役に立ちたい

私自身、民間企業を中心に就職活動をしていましたが、自己分析を深めるほど生まれ育ったまちに貢献したいという気持ちが強くなり、市職員を志望するに至りました。何よりも大切なのは「このまちの誰かの役に立ちたい」という想いです。皆さんの想いも、ひたちなか市で発揮してみませんか。

市民生活部

所属課と主な業務

市民活動課

自立と協働のまちづくり、自治組織活動振興、国際交流、空き家対策等

女性生活課

男女共同参画の推進、相談、消費生活センター等

生活安全課

危機管理に関する総合調整、地域防災計画、交通安全等

市民課

戸籍、住民票、印鑑登録、埋火葬許可証の交付等

生涯学習課

生涯学習の推進に関すること

スポーツ振興課

社会体育及びスポーツ・レクリエーションに関すること

ひたちなか市では自治会活動を支援しているんだって。困ったときに頼りになるのは地域の繋がりがよね！

自治会活動ガイドブック

おとなりさん



▲市内各所に被害をもたらした東日本大震災



▲地域をあげて開催される総合防災訓練



ひたちなか市は、アクセス良好、地域飯うまし、楽しめる場所ありと衣食住が揃った住みやすいまちです。私は、入所してから道路管理→観光→税務→防災・危機管理を経験しましたが、公務員の人事異動は、いわば転職。総合的にスキルを身につけることも、自分にあったやりがいのある仕事を見つけて専門性を高めることもできます。誰にとっても充実した仕事ができ、それが住みやすいまちづくりに直結する特別な職業だと思います。

市民生活部

非常時も、日常も、人とのつながりを大切に



生活安全課 辻川周平（平成19年入所）

防災は、日ごろの備えから

市役所入所17年目、4か所目の勤務課として令和3年4月から生活安全課に配属になりました。防災・危機管理担当として、備蓄品の管理や訓練の実施、説明会や講座を通じた地域への防災意識の啓発を行っています。

大地震や豪雨などの自然現象は、人間の力ではくい止めることはできません。しかし、災害による被害は、私たちの日頃の備えによって減らすことができます。市でも避難所のための備蓄品などを整備していますが、市民の方が「自分でできること」「家族でできること」などについて考え、いつ起こるかわからない災害への備えの大切さを伝えられるようにこころがけています。

大切なのは、人と人のつながり

生活安全課へ配属になり、改めて人と人の繋がりの大切さを感じています。当たり前のようには思いますが、今の社会は、いわゆるデジタル化により人と会わなくても効率的にことが運ぶ世の中です。そんな中で人と直接会うのは

面倒と感じるかもしれませんが、その時の繋がりのおかげで一人ではどうしようもなかった問題の解決につながったことがたくさんあります。

特に防災の仕事は、災害時の避難所運営や物資輸送、パトロール、情報収集、発信など同時に起きる複数の事象に対処しなければならぬため、生活安全課の職員だけではないです。市役所に入所してからは、職員全員の力が大切です。東日本大震災のような大災害は地域の皆様の力も借りなくてはなりません。その時に、顔をあわせた繋がりがあってもいいか、対応のスピード感は大大きく変わってくると思っています。

日常の仕事やプライベートでも、人とのつながりのおかげで助けられたことがたくさんあります。何より誰かと直接話すことは一人でも考えてモヤモヤしたストレスの解消にもなり、業務効率の向上にも役立っていると思います。(笑) 人とのつながり、仲間との協力を大切に、これからの防災行政に取り組んでいきたいと思っています。

保健福祉部

所属課と主な業務

国保年金課

国民健康保険、医療福祉費支給制度、後期高齢者医療、国民年金等

介護保険課

介護保険に関すること

健康推進課

健康増進、狂犬病予防、休日夜間診療所等

福祉事務所

地域福祉課

地域福祉の推進、民生委員、児童委員等

生活支援課

生活保護、高齢者の生活支援、自立支援等

障害福祉課

身体障害者福祉、知的障害者福祉、精神障害者福祉等

高齢福祉課

高齢者福祉、高齢者のいきがい対策、地域包括ケア事業等



▲参加者も運営者も楽しめる憩いの場になっている、子育て・高齢者サロン。



▲土日・祝日開設の休日夜間診療所。



ひとり暮らし高齢者の方には、見守りサービスを利用いただいておりますが、このサービスのおかげで熱中症の方などを早期発見し、救急搬送に繋がられた時には、高齢者の暮らしを支えることができていると実感でき、やりがいを感じています。皆さん、公務員は「人のため」を実感できる職業です。就職活動は大変だと思いますが、ぜひ、一緒に仕事をしましょう。

保健福祉部

高齢者の「必要」に寄り添う仕事



高齢福祉課 小松崎綾音（令和3年入所）

地域の高齢者に寄り添って

高齢者に何かあったときに、関係者と協力しながら迅速な対応ができるように高齢者の連絡先やかかりつけ医を記録する「ひとり暮らし高齢者台帳」の整備や、日常の買い物に困難を感じる高齢者を支援するための「移動スーパー」、「買い物支援バス」などの運行事業を担当しています。

窓口や電話、訪問などで高齢者の相談を聞く中、ひとり暮らしになったことや今後の生活の不安などをお聞きすることがあります。悩みに寄り添って一緒に考え、その不安を少しでも減らし、住み慣れた町で安心して暮らすことができるようサポートできればと思っています。

「助かった」の声が嬉しい

移動スーパーの運行事業については、前年度に自治会や事業所、関係各課との調整を重ねて運行が決まった状態で、今年度、前任者から引き継ぎました。

実際の利用状況を確認するため巡回場所に伺った際に、利用者か

ら「免許返納してしまったため助かっている」、「家が近くで、足りないものを買うことができる」と声をかけていただけたのを嬉しく感じました。

前任者が地域とつくりあげた事業を引き継いだことに、大きな責任を感じていますが、利用者の声を聴きながら、より多くの方に利用してもらえよう支援していきたいと思っています。

「必要」からさらに一歩

移動スーパーは買い物に困難になった方の「必要」に応えた事業ですが、市ではさらに一歩進んで、買い物地域で元気に暮らしていただくためのきっかけにしたいと考えています。移動スーパーに来ていただくついでに、体操教室などにも足を運んでいただいて、健康づくりやご近所の方と交流を深める機会をつくれるよう事業を進めていきたいと考えています。

住み慣れた地域で安心して、元気にすごせる、そんなまちづくりのお手伝いができたら嬉しいです。

子ども部

所属課と主な業務

福祉事務所

子ども政策課

子どもに関する政策の推進、児童手当、児童扶養手当等

子ども未来課

母子保健に関すること、家庭児童相談室等

幼児保育課

市立保育所・市立幼稚園運営、民間保育所、私立幼稚園の運営補助



▲「ひたちなか親子じかん」ひたちなか市で子育てを楽しむ家族の日常や親子のおすすめスポットを紹介した小冊子



▲「親子でおでかけひたちなか公園 MAP」親子でいける市内の公園やおでかけ情報をまとめたMAP



▲妊産婦育児相談：母子手帳をお渡しする機会に、出産・育児に関する不安や疑問を相談できる機会を設けています



▲東石川保育所に設置された病後児保育室「こぐまのおうち」

まちの 声



小此木美智代さん

NPO 法人で子育てサロンスタッフなどの活動をしています。お母さんの声に耳を傾け、子育ての息抜きができる場であるように心がけています。

最近ではコロナ感染症などの影響で、地域で多世代が集まって交流する機会が減っているような気がします。老若男女のつながりがあると地域づくりがしやすいのではないのでしょうか。子どもたちがさまざまな世代と自然に関わり合うことのできる地域になるよう、これからも活動していきたいです。

子ども部

切れ目のない支援で 安心して子育てを



子ども未来課 菅谷知花（令和2年入所）

心がけているのは、 切れ目のない支援

私の所属する子ども未来課は、妊産婦や子育て世帯を対象とする事業を実施しています。そのなかで、私は2歳児歯科健診や出産・子育て応援事業などの母子保健事業を担当しています。母子健康手帳の交付のための面接から始まり、妊産婦への支援や、乳児家庭全戸訪問、乳幼児健診での発育・発達の確認など、安心して妊娠・出産・育児ができるように切れ目のない支援を心がけています。

お母さんの笑顔がやりがい

育児不安の強いお母さんに継続的な支援をしたことがあります。早期の家庭訪問から始まり、定期的な訪問や、電話連絡をするなど、お母さんの不安に寄り添えるように心がけました。定期的なやりとりの中で、育児不安が軽減し、お母さんの表情が明るくなり、前向きに育児に取り組めるようになったと伺った時は、とても嬉しかったです。相談に対して、適切な指導・助言ができていくか、不安になるこ

ともありますが、相談に乗った相手の表情が和らいだり、前向きな発言があると、微力ながらその人の役に立てたのかなと嬉しい気持ちになります。

保健師として 成長していきたい

「市民」と一言で表しても、考え方や背景は様々です。一人ひとりに寄り添った支援ができるように、幅広い専門知識を持ち、多角的に対象者を評価・分析する力や、臨機応変に対応できる力を身に付けることが大切だと思います。保健師の仕事は多岐にわたります。対象の方を支援していく中で、これでいいのか、と迷うこともたくさんあります。そんなときは先輩に相談したり、関係機関と密に連絡をとったりしながら最善の支援ができるよう努めています。経験豊富な職場の先輩保健師の皆さんに相談すると、わかりやすく、的確な助言をいただけるので、とても心強いです。市民にも後輩にも頼られる保健師になれるよう努めていきたいです。

経済環境部

所属課と主な業務

農政課

農業振興、土地改良、地籍調査等

商工振興課

章商工業の振興、中小企業融資」、市営駐車場、勤労者福祉等

観光振興課

観光振興、観光関係イベント支援、海水浴場運営支援等

水産課

水産業の振興、地方卸売市場の管理等

環境政策課

環境保全対策、環境衛生対策、市営墓地、公害防止対策等

廃棄物対策課

一般廃棄物、産業廃棄物、ごみの減量、分別に関すること等



▼ひたちなか市農政課の職員（農政ガール）が、サツマイモの生産からほしもの加工までを体験しながら学ぶ様子を動画でお届けします！



▲漁港のあるひたちなか市では魚食を推進しています。おうちで簡単にできる魚ごはんを動画で紹介



就職や転職は人生において大きなターニングポイントになります。私自身、地元であるひたちなか市を盛り上げたい！地域に貢献したい！という思いから転職を決意しました。市役所の業務は多岐にわたり学ぶことも多く大変ですが、とてもやりがいのある仕事です。

皆さんがやりたいことをひたちなか市で実現してください。一緒にひたちなか市を盛り上げましょう。

ひたちなかガールズ



おいしいさー

経済環境部

ひたちなか市のほしもの
その魅力を全国へ伝えたい



農政課 森俊樹（平成30年入所）

特産「ほしもの」を 全国にPR

ひたちなか市を代表する特産品であるほしもの生産振興を担当しています。

ほしものは、蒸かしたサツマイモの皮を剥いて、つき台で薄くスライスしたものを、乾燥させて作りますが、砂糖や合成着色料等の添加物を一切使用していません。また、ミネラル分や食物繊維を多く含んでいるため、最近では健康食品としても注目されています。

ひたちなか市は日本のほしもの生産量の大多数を占める、日本屈指のほしもの産地です。近年、市外でもほしものが生産されていますが、高品質なひたちなか市のほしものをPRすべく県内外のイベントに参加しほしものを全国へ発信しています。また、ひたちなか・東海・那珂ほしもの協議会の事務局も担当しており、ひたちなか市の冬の風物詩でもある「ほしもの品評会」を開催、毎年2千人以上のお客様に楽しんでもらっています。

ひたちなか市職員、銀座でのPRを企画する

東京都の銀座にある、茨城県

アンテナショップIBARAKI senseで首都圏の消費者向けにほしもの作り体験イベントを開催しました。

イベントを開催するときはゼロから形にしていきます。もちろん一人でできる仕事ではないので、開催日までに課内はもちろん、様々な方と打ち合わせを行い何度も調整をし準備を進めます。

銀座でのイベントでは、私たち地元民にとって当たり前となっている、ほしもの作り方は県外ではあまり知られておらず、ほとんどの工程を手作業で行っていることに大変驚いていました。この体験イベントを通じて、美味しさだけではなく、ほしもの本当の魅力伝えることができたと思います。

イベント当日は不安もありとてもドキドキしますが、無事に終了したときには達成感とともにやりがいを感じます。



▲IBARAKI senseでのイベントチラシ

建設部

所属課と主な業務

道路建設課

道路等の測量、設計、施工監理、市有用地取得の調整等

道路管理課

道路占用等の許可、道路の認定、改廃、道路の維持管理・補修事業等

河川課

準用河川、普通河川、雨水幹線及び市が設置又は管理する水路の維持管理等

住宅課

市営住宅の管理・運営

下水道課

下水道事業の基本計画・施工管理、下水道使用料の賦課、徴収等

建設ってピンとこなかったけど、私たちの生活にかかせない分野なのね

道路をつくれたり、橋をかけたたり、排水路を整備したり・



▲雨水の通り道となる雨水幹線整備



▲河川改修工事が進められる大川



まちの 声

西野滋夫さん

自治会や佐野の輪を推進する会の会長などを通して、長年まちづくりに関わってきました。佐野地区では、近年の大雨で浸水被害が出ており、市に対策を要望してきました。そうした声を汲み上げ、計画を迅速に整え、事業の進捗が見えるようになったのは、河川課の職員をはじめとする関係者の皆さんのおかげです。より住み良いまちに向けた、事業に期待しています。

建設部

治水対策事業を 強力に推進



河川課 大藪国博（平成12年入所）

▲高場雨水1号幹線と4号幹線の合流部

さまざまな連携と協働による事業

国土交通省の浸水被害軽減プラン「100mm/h安心プラン」として登録を受けている「中丸川流域における浸水被害軽減プラン」の事業推進を担当しています。ひたちなか市では、平成28年8月に発生した集中豪雨により西部地域を中心に大きな被害が発生しました。

私たち河川課は、今後、このような浸水被害を軽減するため、県や地域住民、地元企業と連携してプランを策定しました。

このプランは、最近よく発生する「ゲリラ豪雨」に対し、市民が安心して暮らせるように、河川管理者、下水道管理者が役割分担し、地元住民や企業の参画のもと、住宅地や市街地の浸水被害の軽減を図るために実施する取組を定めたプランです。河川課の事業メニューは、一級河川大川、雨水幹線、校庭貯留施設の整備を行ない、県と地域と一体となって、浸水被害の軽減をハード対策およびソフト対策の両面から治水対策を行う事業です。

頼れる先輩と、仲間がいるから、頑張れる

私たちの相手は自然です。自然相手に絶対はありません。予測できないことが起こり、災害が発生します。「ここまで整備したから、大丈夫」ということはありません。それでも、日々、市民の皆さまの生活が脅かされないように、着実に治水対策を進めることが、私たちの仕事です。

私も災害対応の現場は何度も経験しました。そして、浸水被害の悲惨さを目の当たりにしてきました。床上と床下の1センチの差が大きな被害となることを実感しています。そのようなことが起こらないよう、一日も早く、事業を完成させ、安心安全に過ごせるひたちなか市を目指し、その想いを仲間達と共有し、河川課一丸となり、市民の生命と財産を守るため治水計画を策定し取り組んでいます。

事業完了まで、ハードな毎日ですが、一緒に頑張る仲間と、率先して取り組む上司の背中を見ながら、災害に強いひたちなか市を目指しています。

都市整備部

所属課と主な業務

都市計画課

都市計画の決定、住居表示都市計画
往路の測量、設計、施工監理等

公園緑地課

都市公園等、緑化の推進、緑の保全
等

建築指導課

建築指導法に基づく指導、建築相
談、確認申請の審査及び検査等

区画整理事業所

区画整理事業課

六ッ野土地区画整理事業に関する
こと等

区画整理一課

武田土地区画整理事業、佐和駅東
土地区画整理事業に関すること等

区画整理二課

東部第1土地区画整理事業、東部
第2土地区画整理事業に関するこ
と等

那珂湊土地区画整理事務所

阿字ヶ浦土地区画整理事業、船窪
土地区画整理事業に関すること等



▲完成直前の佐和駅新駅舎



▲東中根高場線（高場陸橋）4車線化工事の様子

まちの 声



松本光栄さん

私は、身近な地域の区画整理が進むにつれて、まちの発展する様子を目の当たりにしてきました。まちの整備が進めば、人が集まり、店が増え、にぎやかになります。

今は佐和駅東西自由通路・新駅舎整備や高場陸橋4車線化といった地元待望の事業が進んでいるところで、完成を楽しみにしています。アクセスがよくなり、駅前の賑わいも期待できる。活発なまちになると嬉しいです。

私の仕事が まちの魅力に



都市整備部

都市計画課 鈴木結（令和2年入所）

利用する人を意識して

都市計画とは、都市の将来あるべき姿を想定して、必要な規制や整備を行い、都市を適正に発展させようとするものです。

現在、市では、「ひたちなか市第2次都市計画マスタープラン」に基づき、都市計画事業を進めています。私は、ひたちなか海浜鉄道湊線の新駅「美乃浜学園駅」の駅前広場および周辺道路の改良工事を担当しています。子どもたちが通学に利用するので、防犯の面でも交通の面でも、安心・安全をより意識して日々仕事と向き合っています。

技術者として、もっと まちづくりに関わりたい

私は民間企業で建設コンサルタントをしていました。当時から行政に関わる仕事も多かったのですが、まちづくりの一端を担っているという自負はありましたが、自分の中で、住んでいる人たちの目線に立ったまちづくりに関わりたいという想いが強くなり、市職員を志望しました。

ひたちなか市は海浜公園など全国的にも有名な観光地を持つ、交通人口の多いまち。自分がつくった施設や道路は、市民だけでなく県内外から来る人たちにも利用されます。

担当した施設や道路が、まちのシンボルになり、まちの魅力を高めることにもつながっていく。そんなチャンスがもらえるのは、一人の技術者として、本当に幸せなことだと思います。

理想のまちを 形にする実行部隊

まちづくりのコンセプトは、自治体が決定しますが、まちづくりを技術的な面でフォローし、実現していくのが、私たち工務係の仕事です。計画があって、それを現地で確認して、整合が取れないところがあれば計画を修正する。私の上司は、自分たちを「まちを形にしていく実行部隊だ」と言っています。

子育て世代や、子どもからお年寄りまで。あらゆる世代の住民が、常に生き生きと暮らせるまち。その理想のまちと、私の仕事がつながっていきければ、嬉しいですね。

水道事業所

所属課と主な業務

総務課

水道事業所内の予算、人事、文書管理、連絡調整等

業務課

水道料金、給水に関すること等

工務課

水道施設全般の計画、調整、管路の維持管理、水道施設の管理、水質に関すること等

那珂川の水と、
那珂湊の井戸、
茨城県の
水道水供給事業

3種類の水源をもつ
ことでリスク分散
しているのね

ひたちなか市の
水道施設だって



▲新上坪浄水場



▲配水管の更新工事



私は正直、当初公務員を志望しておりませんでした。しかし、帰省などで地元へ帰り、田んぼ道をランニングしていると、「ほっ」とする気持ちを覚えていたのか、大学の友人に影響されて地元の市役所に入所しました。

災害時には昼夜を問わずハードな毎日になることもあります。「ほっ」とできる場所、「大切なまち・人々の生活を守る。」志を共にし一緒に働ければ幸いです。

水道事業所

大切なまち・人々の生活を守る



工務課 宮崎祥一（平成24年入所）

災害に強い給水施設を

上水道は欠かすことのできない生活基盤です。平成23年の東日本大震災では給水施設が被災し、市内での断水を経験しました。私自身、当時は市の職員ではありませんでしたが、家族や友人共々大変な思いをしました。市の職員となり生活基盤を守る立場になった今、安心・安全な水を絶えずお送りできるような強靱な水道管の整備を推し進め、市民の方々に安心して住んでいただけるまちを実現できるように日夜努力をしています。

私は現在、水道管の新設・更新及び耐震化等の工事の設計及び施工管理業務を担当しています。土木職として現場の測量・設計書作成・施工業者や地域住民との調整などを行っています。具体的には、道路を掘削して水道管の工事を行っているのを見かけることがあると思いますが、あいつつた工事がスムーズに行われるよう適正に設計し、管理するのが仕事です。現在、水道事業所では令和3年度に新上坪浄水場が完成したことに伴って市内に水を送るメイン

の管を地震が起きても給水に重大な影響を受けないように耐震化する計画を遂行しており、現在私はその一部区間の工事を担当しています。

「大切なまち・人々の生活を守る。」ことに直結する仕事であり、責任を感じるとともにやりがいになっています。

地域とのコミュニケーションを大切に

工事をするにあたっては地元住民の方への丁寧な説明が欠かせません。土木職は毎年違う区間の工事を担当することもありますが、以前、ある地域で問題がなかったやり方を、他の地域で同じように行ったら厳しいご意見を頂いた案件が特に印象に残っています。

このことからの学びは、人や地域、時期によって考え方や感じ方が違い、どの場所でも当てはまる「正解」はないということです。地域に寄り添い、より良い形を模索し、試行錯誤を繰り返して続けることが重要だと感じています。

教育委員会事務局

所属課と主な業務

総務課

教育委員会の会議に関すること、事務局内の総合調整、文化財等

学校管理課

学校及び幼稚園の設置及び廃止、学校設備の管理等

保健給食課

学校給食や学校保健に関すること等

指導課

学校教育の計画、経営及び評価並びに児童生徒の生徒指導に関すること等

青少年課

青少年健全育成の推進、学童クラブ等

中央図書館

中央・佐野・那珂湊図書館での図書等必要な資料の収集、整理、保存等



民間施設の専門指導員と先生が一緒に、授業をしてくれるんだって

令和5年から小学校等の屋内温水プールになったのよ



まちの声

たける 吉田越さん

給食ができるまでにたくさんの方が関わっていることを知りました。いろいろなメニューがあって、毎日楽しみにしています。

いつもおいしい給食をありがとうございます。残さず食べようと思います。



給食づくり その裏方の裏方



保健給食課 小泉祐佳（平成29年入所）

給食づくりは チームワーク

給食づくりには、チームワークが欠かせません。まず、新鮮な食材を提供してくださる農家さん・商店さん。給食を調理する調理員。献立作成や衛生管理を行う栄養士。そして、給食施設を整備する職員。多くの人が協力し合うことによって、安全・安心でおいしい給食が子どもたちのもとに届けられています。私の主な業務は、給食をつくるうえで必要な厨房機器や調理器具等の整備をすること。現場の声を聞きながら、調理員のみなさんが働きやすい環境を整える役目を担っています。給食づくりの裏方の裏方ですね。

おいしい給食を 届けるために

ひたちなか市の給食の特徴は「自校方式」。多くの学校に給食室があり、調理を行っています。毎日お昼時になるとおいしい香りが教室にただよい、子どもたちはできたてのあたたかい給食を食べることが出来ます。

調理員のみなさんは、ドレッシングやルーまで、可能な限り手作りをしてくれれます。その調理をサポートするために、機械・器具類を購入する際には、入念に打合せをして、使いやすいものを揃えていきたいです。

仕事の先の、子どもたちの 笑顔を目指して

市役所の仕事というと窓口業務やデスクワークをイメージするかもしれませんが、現場に行き、自分の目で確かめることも多く、思っていたよりもアクティブです。こうやりたい、という強い思いがあれば、自分自身のやる気次第で実現できる環境でもあると思います。

教育委員会事務局に所属している今の目標は、未来のひたちなか市を担う子どもたちが、素敵な大人に成長していける教育環境を整えることです。仕事の先の、子どもたちの笑顔を目指して、目の前の仕事に全力で取り組んでいきたいです。

ひたちなか市公式 note

広報広聴課が市報に掲載
しきれない深い情報を
お届けします



note

ひたちなか市【公式】

Instagram
ひたちなか市の素敵な風景を
お届けします



Instagram

ひたちなか市 公式ウェブサイト

公式情報はこちらから
行政情報を総合的に
お届けします



Homepage

もっと知りたい!

ひたちなか



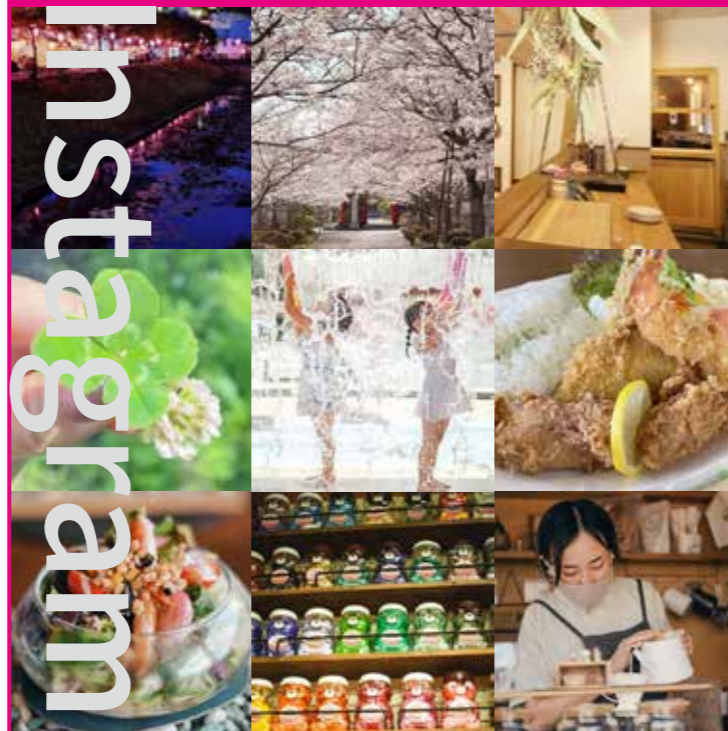
もっと
ひたちなか市について
知りたくなって
きたわね!
じゃあ、とっておきの
最新情報をチェック
してみよう!

わくわく!
ネット上でもこんなに
最新情報が見られる
んだ!
毎日チェックだね!



Love&Peace Hitachinaka Life

Instagram
ひたちなか市「いいところ発信隊」が
市の魅力を発信!



Instagram

LINE

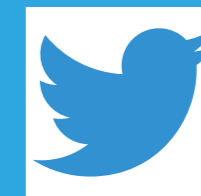


ひたちなか市 LINE 公式アカウント



- 最新の市政情報をお届け
- あなたに必要な情報が届く
防災行政無線の放送内容を
文字でお届け
ごみ収集日をお知らせ
イベント情報など
- 市民レポートで道路・公園
の損傷情報などを市に提供で
きる

Twitter



ひたちなか市 Twitter 公式アカウント



- 役立つ情報をしっかり配信
イベント情報
市報の発行日
防災無線の放送内容など
- ひたちなか市の魅力発信中
ひたちなか市の「今」の
魅力を発信。あなたの投稿
がリツイートされるかも。

勤務条件・福利厚生

給与

学校卒業直後に採用された場合の給料月額、次のとおりです（地域手当6%含む）

区分	事務等	障害者選考	賞与
大学卒	203,202円	196,312円	4.4月分
短大卒	182,956円	177,126円	
高校卒	168,434円	163,876円	

（令和5年4月1日現在）

※採用前に職歴等一定の経験年数がある場合は、上記の金額に一定額が加算されます。その他、扶養・住居・通勤・時間外勤務等の手当があります。

勤務時間

午前8時30分から午後5時15分まで
（休憩時間 正午から午後1時まで）
※勤務場所により異なることがあります

休日休暇

休日 土曜日、日曜日、祝日及び年末年始（12月29日から翌年の1月3日まで）
※勤務場所により異なることがあります

休暇 年次休暇、療養休暇、介護休暇、特別休暇（結婚・忌引・夏季等）、育児休業

福利厚生事業

給付貸付 結婚、出産等の際の給付金の支給や住宅取得のための資金貸付を受けられます。

健康管理 年1回の定期健康診断や人間ドックの利用助成が受けられます。

厚生活動 職員の親睦などを目的に、各種スポーツ大会やクラブ活動を行っています。

職員研修制度

ステップアップ研修
各職位に求められる役割に応じた制作形成能力を養います。

ベーシック研修
職員に必要な基本能力を習得する実務研修など

パワーアップ研修
より高度で専門的な能力を習得するために

新任職員研修
（入所後）

パソコン研修

政策課題研究研修

初級職員研修
（入所2～3年目）

財務会計事務研修

派遣特別研修

中級職員研修
（原則入所5年以上）

手話研修

採用後の
研修制度も
充実！

さらに！



特徴

ひたちなか市職員採用試験

Q&A

筆記試験にSPI3を導入

事務上級において、SPI3または教養試験のいずれかを選択できます。

第1次試験で面接試験を実施

人物重視の試験です。みなさんの意欲を思い切りアピールしてください！

参考 令和4年度の日程（実績）

※新型コロナウイルス感染症の影響により変更となる場合があります。

7月下旬	試験案内公開・配布
7月下旬～8月中旬	試験申込受付
9月中旬	第1次試験
10月中旬	第2次試験
11月中旬	第3次試験
11月下旬	最終合格発表

- Q** 毎年、採用試験を実施していますか？
- A** ほぼ毎年実施していますが、年度により採用を行わない職種があります。募集の内容は市報、ホームページでお知らせします。
- Q** ひたちなか市に住んでいなくても申し込みはできますか？
- A** 出身地はもちろん、年齢、性別、学歴、職歴によって有利・不利になることはありません。
- Q** 採用試験案内・申込書はどこにありますか？
- A** ホームページからダウンロードできます。また、インターネットによる申込みも可能です。
- Q** 他の公務員や民間企業の採用試験との併願はできますか？
- A** 受験資格や日程の問題がなければ、併願は可能です。



ひたちなか市職員、目指します!!



楽しみね!

丸の内OLよりやりがいありそう...





ひたちなか市採用案内パンフレット

市役所の仕事 教えます

発行：茨城県ひたちなか市
制作：ひたちなか市職員（企画・出演・撮影・取材・編集）
問合せ：ひたちなか市総務部人事課
ひたちなか市東石川2丁目10番1号
☎029-273-0111

採用・募集情報ホームページ

